

報 告
西中PTA
 創刊号
 1984.6.30
 黒浜西中
 PTA広報部

子どもの育成は 学校と家庭の連携から

六月九日(土)校長室において、新設校運営に当り、PTAの役割りについて、学校長とPTA会長に語っていただきました。



小嶋正雄 PTA会長

校長 学校運営の大きな力となるのは、PTA活動である。これは、家庭と学校の連携を深める一つの橋渡しである。現在叫ばれている人間性豊かな教育は、

その連携を深めていく中にある。西中を、開かれた文化センター的要素を持った学校にしていきたいと思う。

会長 先生と父母の話し合いの機会をより多くし、互いに意見交換し、理解を深めたい。多くの会員の意見を集約し、子どもにとってよい事は、慣習にとらわれず、試みる事が必要と思う。

新設に付き、各種財源確保の必要性(校歌・校旗作製・部活動充実)から、廃品回収・パザ



村岡悦夫 学校長

1等の行事を行いたい。目的を理解していただいて、会員の皆さまのご協力をお願いしたい。

校長 西中の教育目標は

- ① 自ら学ぶ生徒
- ② 創造性豊かな生徒
- ③ からだの強い生徒
- ④ 人間性豊かな生徒

です。学校生活の中で、この目

標のために努力していきたい、家庭生活の中においても同様であってほしい。そのために学校と家庭は、連携を深めなければならぬと思う。

今の子どもたちにとって、学校での生活はとても大事である。(時間的にみても長い)親たちは、学校に関心があるだろうし、さらに関心を持ってもらいたい。中学生にとって、教師と親の関心の目が必要である。

会長 親は、子をまらんと理解し

ないで、片よった見方で評価しやすい。学校での見方を知り、子どもを正しく理解していきたい。よりよく育てる方法を、学校と家庭が話し合っていきたいと思う。

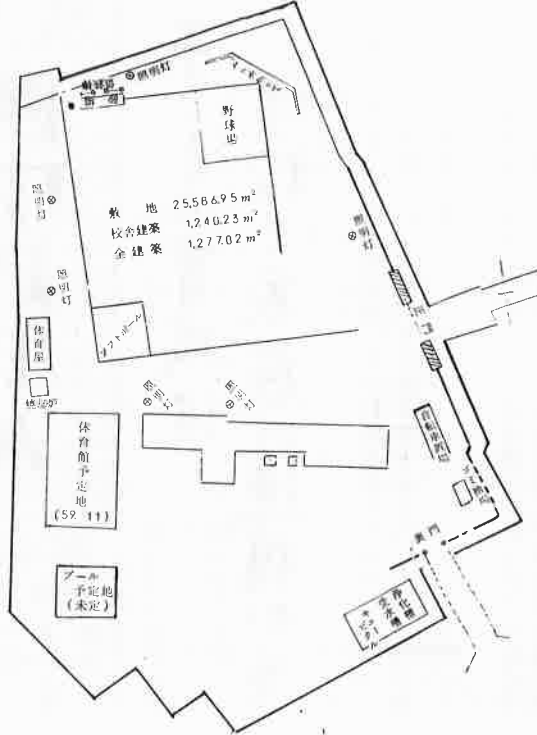
校長 生徒たちの体験活動としての部活動を強力に進めていきたい。部活動は子どもたちが、自ら選んだものである。その中で、自主性が生まれ、育てられると思う、よりよい条件づくりをしてあげたいと思う。生徒たちは部活動の中で、とてもいきいきとしている。部活動を通じて体力、精神力、自主性を養い、人間性豊かな教育に役立つ縦の学習体験をさせていきたい。教師と親のはげましが必要と思う。

募集

広報の題字及びカットを、募集しています。九月には、あなたの題字の入った二号を発行したいと思います。

ふるってご応募下さい。(クラスの担任まで)

昭和 59 年度学校案内図



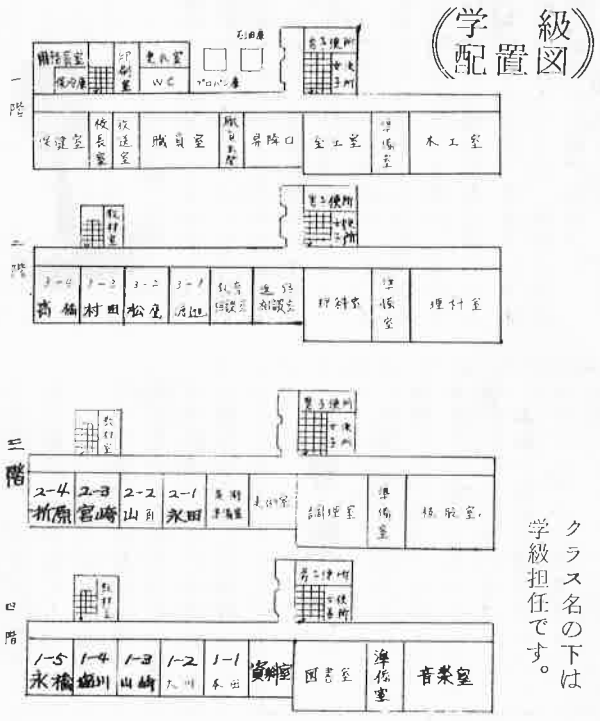
校長 黒中からの分離でたくさん
の部活動があったが、教師数が
すくなくなつたので担当できな
くなくなつてしまった。西中の先生
たちは熱心に部活動に取り組ん
でいる。
本年度教師の研修課題は、「一
人一人を生かす指導法の研究」
— 生き生きとした授業を支える

学級経営のあり方—となつてい
る。よりよい方向をさぐりたい。
会長 分離後三ヶ月が過ぎたが、
子どもたちはのびのびしている
ように思う。親たちは、自分た
ちの考えていることを学校に持
ちより、皆で話し合つていきた
い。

- 会長 小嶋正雄
副会長 黒須健寿 (総務部)
林 頌子 (教養部)
倉持裕子 (広報部)
小野尚子 (進路対策部)

私が P T A の
あたります

- 副会長 田岡文子 (部活動育成部)
高田春子 (補導部)
浅香雅代 (交通安全部)
幹事 平林栄七
下田ナカ
秋山家子 (進路対策部)
会 計 長沢秀子



クラス名の下は
学級担任です。



「校章の意味するもの」

黒丸が9つで ----- 黒
 「マ」が8つで ----- 浜
 中央に ----- 西・中

よすか
 四角の大きな丸は子供を支える先生で
 5つの小さな丸は生徒を表わし
 互いに助け合っている。
 「互助」を意味している。

蓮田市広報の公募により、円山郁太郎様 (川島635) の作品が採用されました。



Teacher

教師・師・せんせい



(敬称略)

新学期が始まってから三ヶ月たちました。生徒たちはもう二十三名の先生方のお名前は知っていると思われまます。お父さん、お母さん、ご存知ですか？ 先生方を。蓮中から村岡先生(校長)・永田先生、黒中から平林先生(教頭)・鈴木先生(教務主任)・倉持先生(事務主任)・大橋・永橋・塩川・山崎・山角・宮崎・塩瀬・折原・高橋・村田・松鷹・渡辺先生がた、篠津中から本田先生、慈恩寺中から小川先生、武里中から大川先生



用務員
 橋本喜久枝さん
 お世話になります。

唐桑中(宮城県)から坂元先生。新任の須藤先生と六校から集まった先生がたにより、新設校西中の校風がつくられようとしています。先生がたのお手並拝見といきたいところですが、校風づくりの一端を子どもと親が担っていることを忘れてはならないと思います。先生方のくわしいご紹介は二号でいたします。



国語科 新任 須藤三雪先生

バザーは 体育館完成後に予定 —企画委員会からの報告—

六月九日第一回の企画委員会が開かれ、一学期の各部の活動の再検討が行われました。その結果バザーは、体育館完成後にということになりました。親子奉仕作業もしばらく見合わせることにしました。音楽会は、教養部がすでに取り組みをはじめています。生徒たちは定期試験

前日ということでは足ぶみもあるかと思えますが、早目に試験勉強をすませ、親子で楽しい、心豊かなひとときをすごしてみませんか。進路対策部も話し合いを進めています。部活動育成部はまず部活動の見学から、と予定を組みました。

会員のみなさんが、できるだけ学校に向き、子どもたちの学校生活をかいま見、先生方と共に子育てについて考え合っている場所を作っていきたいものと思えます。



毎月です



七月より毎月廃品回収が行われます。実施方法については、従来と変わって、クリンカード制が用いられます。

クリンカード制とは、各家庭の廃品を、業者が直接回収して廻り、回収量を記入した伝票を置いていきます。その伝票に基づいて代金がPTAに支払われます。

毎月の回収は、ボロ布・新聞紙・雑誌・本・段ボールとし、鉄くず・びん類は八月と一月の年二回収ります。

回収日は、西中・西小区域では、毎月第一週の月曜日から金曜日までの毎日です。

鉄くず・びん類の回収は日と集荷場所を指定され、各家庭でその場所まで運びます。

皆さんの作業負担を少しでも軽くし、毎月、廃品回収を行なうことで年間収益を高めると思っています。皆さんご協力下さい。

少ない 通学路

—地区委員さんの
通学路調査—

六月四日、交通安全部と補導部合同で通学路の危険箇所の調査が行われました。早朝から所要所に立ち、通学の様子を見ている

した。翌日五日、校長先生もまじえて話し合いが行われました。道中の狭い所が多く、注意をおけると危険につながる場所が多いことが指摘されました。

学校側では毎月一回先生がたによる、通学指導が行われ、生徒たちに注意をうながして下さっています。家庭でも休日などに、子どもと一緒に通学路を歩いてみたらどうでしょうか。

自然にめぐまれた美しい地域もあるのですが、通学路としてはまだまだ整備をしておきたい所もあります。PTAとして、市にお願いしていきましようということになりました。

中学校では家庭教育学級がないのですか。体と共に心も成長し子どもから大人へ移行する中で、性・非行・将来の設計や進路等、中学生なりの問題があると思います。

親と子が共に考える機会が生まれました。



親と子が共に考える機会が生まれました。

校庭

昼生徒には広い校庭がふさわしい。雑木林のなごりも又よし、しかしあのほこりには泣かされます。

夜明るい照明は、グラウンドを別天地のようにしてしまふ。一度みてみましよう。(利用については市教育委員会へお問合わせ下さい。)

生徒在籍数			
学年	男子	女子	計
1	126	89	215
2	85	78	163
3	86	84	170
計	297	251	548

1984. 6. 現在

後記

「創刊号は早い時期に出そう。」をあいことばに頑張りました。本年度は四号出す予定です。